

海の日には  
よこはまで 能と狂言

第九回

能よこはま  
の会



能 鶉飼 伊藤嘉章	狂言 清水 山本則重	仕舞 笠之段 梅若万三郎	能二人静 梅若泰志 加藤眞悟
-----------------	------------------	--------------------	----------------------

松平

# 横浜能楽堂

平成29年7月17日(月・祝)

午後1時始 (開場午後12時20分)

入場料 全席指定	S席7,000円 / A席5,500円 / B席4,000円 学生全席1,000円引き
-------------	--

横浜市民は10%割引

各お申込・お問合せ

梅若研能会 ☎03(3466)3041  
<http://www.umewakakennohkai.com/>

伊藤嘉章 ☎090(8508)0553  
[noh\\_ticket\\_moushikomi@yahoo.co.jp](mailto:noh_ticket_moushikomi@yahoo.co.jp)

加藤眞悟 ☎045(481)8704  
[mei@shingo.from.tv](mailto:mei@shingo.from.tv)

e+(イープラス) <http://eplus.jp>

カンフェティ ☎0120(240)540  
<http://confetti-web.com>

平成29年度  
海の日 第九回

# よこはま能の会

平成二十九年七月十七日(月) (祝)  
午後一時開演 十二時半開場  
於横浜能楽堂  
解説：横浜国立大学  
教授 三宅晶子

演  
目  
あ  
ら  
す  
じ

## 能 二人静・立出之一声 (ふたりしずか・たちいでのいっせい)

女(シテ)が菜摘川で吉野勝手明神の神事に供える若菜を摘んでいると、自分の供養を頼む謎の女(前ツレ)に出会う。社殿に戻り神職(ワキ)に出来事を告げる菜摘女に乗り移る謎の女の霊…、その正体は静御前だった。宝物庫にある舞装束をつけて義経の都落ちを語り舞う女の背後に、やがては、静の亡霊(後ツレ)も姿を現すのだった。

## 狂言 清水 (しみず)

主人(アド)から、茶の湯で使う水を野中の清水へ汲みに行くように命じられた太郎冠者(シテ)。茶の湯の度に、遠くの清水から重い水を運ばさせられては叶わない、と主人の秘蔵の手桶を清水に置いて、清水に鬼が出た、と襲われたふりをして帰ってくる。手桶を惜しがりみずから清水へ行くと言いだす主人に太郎冠者は…。

## 能 鶴飼・真如之月 (うかい・しんによのつき)

甲斐へ向かう途中、石和川辺りの御堂に泊まった安房国清澄の僧達(ワキ・ワキツレ)の前に現れた鶴使いの老人(前シテ)は、この地で禁漁を破り殺された亡者の霊で、鶴飼の様を見せ回向を頼み姿を消した。やがて、法華経を書いた石を川に沈め弔う僧の眼前に地獄の鬼(後シテ)が現れ、亡者の霊が極楽へ昇る事となった仏徳を讃える。

## 能 二人静 立出之一声

ツレ 梅若 泰志  
シテ 加藤 眞悟  
ワキ 梅村 昌功  
笛 栗林 祐輔  
小鼓 森 貫史  
大鼓 大倉正之助  
問狂言 山本則重  
後見言 梅若 雅一  
梅若 万佐晴  
地謡 伊藤 嘉章  
八田 達弥  
長谷川 晴彦  
梅若 紀長  
遠田 修  
古室 知也  
梅若 久紀  
青木 健一

休憩二十分  
三時頃

## 仕舞 笠之段

梅若 万三郎  
地謡 中村 裕  
青木 一郎  
八田 達弥  
梅若 紀長

## 狂言 清水

シテ 山本則重  
アド 山本則秀  
後見 水木 武郎

## 能 鶴飼 真如之月

シテ 伊藤 嘉章  
ワキ 安田 登  
笛 成田 寛人  
小鼓 飯富 孔明  
大鼓 柿原 弘和  
太鼓 梶谷 英樹  
問狂言 山本則孝  
後見 青木 一郎  
中村 裕  
地謡 加藤 眞悟  
長谷川 晴彦  
梅若 泰志  
遠田 修  
古室 知也  
梅若 久紀  
青木 健一  
中村 裕

四時四十分ごろ終了予定

申合せ七月十四日(金)九時半始  
梅若研能会舞台にて



### 伊藤嘉章 (いとうよしあき)

昭和40年生、横浜市神奈川区在住。公益財団法人梅若研能会理事、(一社)日本能楽会会員(重要無形文化財総合指定保持者)、(公社)能楽協会会員、観世流準職分。昭和47年仕舞「鶴亀」に初舞台。昭和55年梅若万三郎家入門し、平成2年独立。嘉翔会主宰。横浜にて実演を交えた演目解説講座を不定期で開催。



### 加藤眞悟 (かとうしんご)

昭和33年生、横浜市神奈川区在住。公益財団法人梅若研能会理事、(一社)日本能楽会会員(重要無形文化財総合指定保持者)、(公社)能楽協会東京支部常議員。観世流準職分。昭和58年梅若万三郎家入門。昭和62年「小袖曾我」にて初シテ以降、平成5年独立。主催会「明之會(めいのかい)」や、横浜・平塚・田端・伊勢崎市・行田市等で能の普及に努めている。



## よこはま能の会 事前講座

能面、装束を見てみよう 演者のお話を聞いてみよう

日程  
場所  
参加費

7月9日(日曜) 14時~16時  
横浜能楽堂 第二舞台  
1,000円(要予約)

チケット購入の方は無料

当日のシテを演ずる  
能楽師が解説いたします

### 交通のご案内

#### 電車利用

JR根岸線・市営地下鉄線「桜木町」駅下車徒歩15分  
みなとみらい線「みなとみらい」駅下車徒歩20分  
京浜急行「日ノ出町」駅下車徒歩18分(タクシー利用は各駅とも約5分)

#### バス利用

戸部1丁目(市営/バス103系統)下車徒歩5分  
紅葉坂(市営/バス8, 58, 105, 110系統/  
神奈中/バス横43, 横44, 港61系統/  
江ノ電/バス大船駅行、栗木行/京急/バス110系統)下車徒歩10分  
※駐車場はございませんので、ご来場の際には電車・バスをご利用ください。  
※内容・出演者に変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。  
※客席への飲食物の持ち込みはご遠慮ください。

## 横浜能楽堂

〒220-0044  
横浜市西区紅葉ヶ丘27-2  
tel:045-263-3055  
http://www.ynt.yaf.or.jp

